

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2008/08/11 駐在員：宮村 佐衣子

【膳所高校スーパーサイエンスハイスクール事業ミシガン研修団】

8月9日から8月22日までミシガン州立大学等で科学研修を行うため、滋賀県立膳所高校から16名の高校生が、ミシガン州を訪れました。

この研修は、文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール」として指定を受けた膳所高校の「サイエンス グローカル プロジェクト」の一環で、ミシガン州立大学等において環境科学や生命科学を中心とした講義受講・施設研修等を体験し、国の枠にとらわれない科学的視野を身につけることを目指すものです。また、ミシガン州立大学等のESLコースでの英語研修も実施し、英語でのプレゼンテーション能力の育成も図ります。

滞在期間中、生徒たちはミシガン州の家庭にホームステイします。

ミシガン州側では、ホストファミリーとなる家庭を対象に、これまでオリエンテーションを2回開催し、滋賀県のVTRを見ていただき、駐在員からも滋賀県との姉妹都市関係のことや、日本語での挨拶の仕方などを説明させていただきました。

(右：オリエンテーションの様子)

当日は、飛行機の到着が予定より約40分遅れたため、その待ち時間の間に、ホストファミリーの方たちは、オリエンテーションで配布した日本語の紙をみながら、「はじめまして」を何度も練習されていました。

ランシング空港の会議室で行われたホストファミリーとの対面式では、最初に、学生代表の方から、積極的に何事もチャレンジしていきたいという、非常に流暢な英語での挨拶に、会場からも拍手喝采でした。



(ホストファミリーとの対面式)



なお、ランシング空港では、スーパーサイエンスハイスクールの高校生がミシガンを訪れるということで、ランシング姉妹都市委員の方の協力により、この期間特別に、空港の展示を日本の展示に変えてくださいました。